

<p>団体名</p>	<p>NPO法人 いいざかサポーターズクラブ</p>
<p>事業名</p>	<p>ふくしまっ子元気発信プロジェクト</p>
<p>目的</p>	<p>3.11東日本大震災によって、地震・津波など甚大な被害を受けた福島県は、更に原発事故による放射能汚染や風評被害の影響により、今なお被害が拡大しており不安な生活を余儀なくされています。また、復興復旧のために様々な立場で福島県民は丸となり福島の復興を願っております。</p> <p>今回の災害復興支援については、一番影響を受けている子どもたちを対象に、放射能汚染レベルの低いフィールドを活用して健康で夢と元気を与えることの出来る自然体験プログラムやカヤック体験の実施を行います。</p> <p>また、活動を通じて地域再生を担う人材育成も図られ、「もったいないをカタチに」を理念に活力あふれる地域社会を目指すことを目的とします。</p>
<p>目標</p>	<p>「本事業の達成目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世代間交流が促進され、自然豊かな福島市飯坂町茂庭地区を活用することにより、水資源の大切さや森林の大切さを学ぶことができます。また、地場産品や生産者と触れ合うことで、より一層郷土への理解も深まります。</li> <li>2. 福島市飯坂町茂庭地区をはじめ、近隣エリアの活性化にも繋がり、福島の安全と元気を全国に発信することができます。</li> </ol> <p>「今後の目標」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当法人にて、自主的に継続して実践することを目指します。</li> <li>2. プログラムの内容等を工夫することにより、より充実した体験プログラムの実施を目指します。</li> <li>3. 地域再生を担う人材育成や活力あふれる地域社会を目指す活動も継続して行うことを目指します。</li> </ol>
<p>事業内容</p>	<p>福島市飯坂町において季節ごとの自然体験プログラムを年12回実施します。また、カヤック体験においては、東京ドーム100個分の広さを誇る東北No.1ロックフィルダムの摺上川ダムのダム湖にて実施します。既に調査や安全面の確認は検証済のため初回から実践の体験を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カヤック体験             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 時期: 2012年5月～10月 計12回すべてで実施</li> <li>(2) 場所: 摺上川ダム・ダム湖 梨平公園発着</li> <li>(3) 内容: 摺上川ダムのダム湖でカヤック体験を実施。カヤックを楽しむ姿を撮影しプレゼントします。</li> </ol> </li> <li>2. 農業体験             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 時期: 2012年5月・10月 計2回</li> <li>(2) 場所: 飯坂町茂庭地区</li> <li>(3) 内容: 地元の農家さんの協力を得て5月は田植え、10月は稲刈りを実施。悪天候の場合は、農家さんのお話を聞いたり、手しごと体験を実施します。</li> </ol> </li> <li>3. 野外体験             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 時期: 2012年5月、6月、9月 計5回</li> <li>(2) 場所: 飯坂町茂庭地区</li> <li>(3) 内容: 東北有数の規模のダムの麓で地元の食材を使ったバーベキュー、竹を使っておもしろ竹細工づくり、親子でそば打ち体験、アルミ缶ランタンづくり、ダッチオープン料理体験を地元の農家さんに協力をいただき実施します。また、カヤック体験が気象状況により不可能な際は上記の体験プログラムで対応します。</li> </ol> </li> <li>4. 川遊び             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 時期: 2012年7月～8月 計5回</li> <li>(2) 場所: 飯坂町茂庭地区 滑滝または蓮華滝</li> <li>(3) 内容: フローティングジャケットを装着して、ぷかぷか川流れを緩やかな流れの場所で実施したり、プチシャワークライミング体験で清流を楽しんだり、勇気を出して高飛び込みに挑戦します。前日の天候により川に入るのが危険と判断した場合は、川辺の石を拾って石アートづくりをします。</li> </ol> </li> </ol>

事業 成 果 物	参加者:各回10名(福島市はじめ県北エリア在住の小中学生) 事業報告書、写真データ(DVD・子ども達の笑顔発信にも活用)
-------------------	---

JT NPO助成 申請事業 企画書

<b>事業名</b>	<b>大好きふくしま「絆」プロジェクト事業</b>
	<p>●事業実施の背景(地域社会が抱える青少年をめぐる課題・ニーズ) (300字以内)                  福島県は、3.11の東日本大震災において地震、津波の被害に加えて東京電力福島第1原発事故による放射線の被害で避難を余儀なくされたり、未だに原発事故の収束が見えない状況で日々、不安な生活が続いております。自主的に県外へ避難した住民は福島市や伊達市のみならず福島県内で9月10日時点で5万5793人にも及びます。そんな中、子供たちだけではなく大人も心労が蓄積してる状態です。放射線の影響により、外で元気に遊ぶ子供たちの姿を見ることが少なくなっていました。今回の大震災で一番影響があった子供たちを救い、その子供たちを見守る親とそしてコミュニティが崩壊してしまった地域を再生することが必至の課題と考えます。</p> <p>●事業の目的 (300字以内)                  福島県内の子供たちと親を対象に放射線の影響の少ないフィールドを活用し、体験・学習・交流をテーマにした自然体験活動や各プログラムを実施することで親子の絆づくりと地域内の多様な参加者による「共有」と「協働」のネットワークづくりを通じて、異世代の交流が生まれ地域のコミュニティの再生が図られることを目指します。原発事故で不安な日々を過ごしてる子供たちと大人が少しでも元気になれるように地域でこの困難を乗り越え、着地型観光の理念(三方良し)で地域づくりを目指します。また、この活動を通じてリーダーを育成し地域の再生と活性化が図られることを目的とします。</p>
<b>事業概要</b>	<p>●事業の概要 (誰が、誰に、何を、どういう方法で実施するのか?)                  特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ(以下は、ISC)設立以来、常に地域のまちづくりを考え事業を遂行して参りました。特に今回の事業は、重要なミッションと捉え事業を行います。ISCは、年間を通じて着地型観光を推進しており、福島県地域創造プロデューサー(地域コーディネーター)として親子で参加出来る以下のプログラムを福島県県北地方の住民を対象に年間を通じて「大好きふくしま「絆」プロジェクト」を実施し親子で5つのプログラムを体験することで「ふくしま好きっ子」に認定します。また春・夏・秋には参加者全体で行うイベントも開催します。                  ※体験プログラムの開催日程については別紙スケジュールを参照                  【対象者】県北地方在住の小中学生50名(先着順)(保護者同伴は人数に含まず)                  【募集方法】チラシ・市政だより・県の広報誌・ホームページ・新聞・twitter等                  【開校式(オリエンテーション)、閉校式の実施】                  【参加費について】小中学生 1人5,500円(傷害保険料・材料費・レンタル料込)                  ※保護者は、1人7,500円(傷害保険料・材料費・レンタル料込)                  【プログラム内容】                  ①カヤック体験(6月～10月) ※悪天候の際は、代替えプログラムで実施。または日程変更も有り。                  ②農業体験(収穫体験)(9月～10月)                  ③カルチャー体験(陶芸+ピザづくり)(5月、6月、10月)                  ④親子でノルディックウォーキング体験(5月、11月)                  ⑤クッキング体験(安齋果樹園にてジャムづくりなど)(6月、11月、12月)                  【全員集合イベント】                  「春」親子でゴミレンジャー(ダム湖周辺のクリーン作戦(ゴミ拾い)を実施する。)                  「夏」播上川ダム潜入(水資源の学習、普段入ることの出来ないダムの内部、監査廊などの見学を実施する。)                  「秋」出張天文台(田村市滝根町の星の村天文台台長、大野裕明先生の出前講座を実施する。)</p> <p>●申請事業の特性(該当する項目の番号に○印を付けてください)                  1. 申請者が以前から実施している事業と同一の継続事業                  ○2. 申請者が以前から実施している事業を改善・発展させた事業                  3. 申請者が2012年度から新規に取り組む事業</p> <p>★上記で「2」を選択した場合の改善・発展させた内容                  当法人では、着地型観光体験プログラムを販売するために平成21年度の調査から始まり平成22年度ではプログラムの創出、平成23年度ではプログラムの実施検証を行なって参りました。当初は、福島県県北エリア外からの観光客をターゲットに考えていました。しかし大震災後は、地域住民が元気になる必要性を考慮して、各体験プログラムを単体で販売するのではなく、がっこう形式で開催することで、参加回数を増やし子供たちと地域が笑顔で元気になれる事業に改善、発展させました。また、インターネットを活用し、大好きふくしま「絆」プロジェクトの事業内容は随時発信します。</p>

(次ページに続く)